

平成31年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 大阪府

市 町 村 名	( 大阪市住吉区 )			
事 業 名	こどもの将来のライフプラン支援事業	所要見込額	813 千円	
実 施 期 間	交付決定日 ~ 平成32年3月31日			
地域の実情と課題 (これまでの市町村における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述)	<p>大阪市においては、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年計画として、「大阪市こども・子育て支援計画」を策定し、次代の大阪を担うすべてのこどもたちが、安全で安心な環境の中で育ち、豊かな心をはぐくみながら、個性や創造性を発揮し、いきいきと自立して生きる社会、こどもを生き育てることに安心と喜びを感じることのできる社会を、社会全体で実現することをめざして、計画的な取組みを進めているところである。</p> <p>住吉区では過去5年（平成25年～29年）平均の10代の出生数が20名程度になっている状況にあり、全体に占める10代の出産の割合が大阪市1.4%に対して住吉区は1.54%と高い状況である。また、平成28年度に実施された「子どもの生活に関する実態調査」でも、初めて親になった年齢について、20～23歳の割合が大阪市13.7%に対して住吉区が15.1%と高くなっており、若年出産の割合が高く、経済的に不安定な状態で子育てを行っている世帯が多い状況である。また、このことが児童虐待通報件数の増（平成27年度：311件→平成29年度：438件）の要因の一つになっていると推察される。従って、学齢期において、将来のライフプランを描く力を身に着ける教育を行うことにより、将来の安定的な子育てに繋げる取組みが必要である。</p>			
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け	<p>大阪市こども・子育て支援計画において、基本施策として「安心してこどもを生き、育てられるよう支援する仕組みを充実します」が掲げられており、その中の施策目標において、「思春期のこどもの健康を守る取組を充実させる」ことが謳われ、この計画のもと全市的に生命の尊さや性への正しい知識、子育ての意義などへの理解を促す健康教育の推進などが図られている。</p> <p>住吉区では、安心して子育てができる環境整備を行うことが、少子化対策にも繋がるとの考え方のもと、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談・サポート体制の充実、支援を要する家庭が相談機関につながる支援体制の強化、経済困窮や若年出産に対応した取組み等、施策の展開を図っている。本事業については、その中でも若年出産に対応した取組みに位置づけられる。</p>			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	安心して子育てができると感じる区民の割合を2023年度までに75%以上 (住吉区将来ビジョン2023(案))			
参考指標	※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等 出生数: H29 1,214人			
事業内容	1 優良事例の横展開支援事業	所要見込額	813 千円	
	(1) 結婚に対する取組	所要見込額	0 千円	
	個別事業名	所要見込額	0 千円	
	個別事業名	所要見込額	0 千円	
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組	所要見込額	813 千円	
	個別事業名	こどもの将来のライフプラン支援事業	所要見込額	813 千円
	個別事業名		所要見込額	0 千円
	2 結婚新生活支援事業	所要見込額	千円	